

令和6年度 公社等経営評価シート
(対象期間：令和5年4月1日～令和6年3月31日)

概 要	名 称	公益財団法人宮崎県健康づくり協会			所在地	宮崎市霧島1丁目1番地2	
	電話番号	0985-38-5512			ホームページ	https://www.miyakenkou.or.jp/	
	設立年月日	平成9年4月1日	代表者	理事長 菊池 郁夫	県所管部・課	福祉保健部 健康増進課	
	総出資額	30,000 千円		県出資額	8,000 千円	県出資比率	26.7%
	設立目的	県民の総合的な健康づくりを積極的に推進するため必要な事業を行い、もって公衆衛生の向上と地域社会の健全な発展を実現し、県民の保健、医療及び福祉の向上に寄与することを目的とする。					
特記事項		①健康保険法、国民健康保険法、高齢者医療確保法に基づく特定健康診査事業 ②学校保健安全法に基づく健（検）診・検査事業					

		内容	令和4年度	令和5年度	令和6年度
①公社等のあり方見直し		各種事業の円滑な実施	(計画)各種健(検)診・検査、啓発及び健康づくり支援事業の効率的・効果的な事業運営に努める。 (実績)健(検)診・検査事業における精度管理の徹底、県や市町村と連携した健(検)診受診率向上の取組、豊富な健診情報を基にした調査分析活動への積極的な取組等を役員会の迅速な意思決定のもと推進した。	(計画)各種健(検)診・検査、啓発及び健康づくり支援事業の効率的・効果的な事業運営に努める。 (実績)健(検)診・検査事業における精度管理の徹底、県や市町村と連携した健(検)診受診率向上の取組、豊富な健診情報を基にした調査分析活動への積極的な取組等を役員会の迅速な意思決定のもと推進した。	(計画)各種健(検)診・検査、啓発及び健康づくり支援事業の効率的・効果的な事業運営に努める。
改革工程	経営・事業運営改善	運営基本構想(中・長期ビジョン)の実施	(計画)「基本理念」及び「基本方針」に基づき、時代の変化に即応しつつ、必要に応じた見直し等を行いながら、経営基盤の安定と精度管理の充実を図る。 (実績)「運営基本構想」を踏まえ、経営基盤の安定と精度管理の充実を図った。	(計画)「基本理念」及び「基本方針」に基づき、時代の変化に即応しつつ、必要に応じた見直し等を行いながら、経営基盤の安定と精度管理の充実を図る。 (実績)「運営基本構想」を踏まえ、経営基盤の安定と精度管理の充実を図った。	(計画)「基本理念」及び「基本方針」に基づき、時代の変化に即応しつつ、必要に応じた見直し等を行いながら、経営基盤の安定と精度管理の充実を図る。
	財務改善	・収支相償の維持・確保 ・経費節減	(計画)事業の充実を図りつつ、収支相償に留意しながら、収益の確保に努めるとともに、経費節減を徹底し、安定した財政基盤の確保に努める。 (実績)職場における健(検)診受診者は増加したが、新型コロナウイルス感染症の影響により、市町村の住民を対象とした特定健康診査や、各種がん検診全体の減少により、赤字決算となった。今後とも経費節減しつつ、公益事業の充実を図る。	(計画)事業の充実を図りつつ、収支相償に留意しながら、収益の確保に努めるとともに、経費節減を徹底し、安定した財政基盤の確保に努める。 (実績)職場における健(検)診受診者は増加したが、市町村の住民を対象とした各種がん検診全体の減少や、児童・生徒数の減少に伴う学校健(検)診の減少により、赤字決算となった。今後とも経費節減しつつ、公益事業の充実を図る。	(計画)事業の充実を図りつつ、収支相償に留意しながら、収益の確保に努めるとともに、経費節減を徹底し、安定した財政基盤の確保に努める。
	組織等適正化	・効率的な組織体制の構築 ・医師・看護師等専門スタッフの充実	(計画)適正な人員配置等により組織体制の強化・充実を図るとともに、精度管理の維持向上のため、常勤医師・看護師等の専門スタッフの充実を図る。 (実績)正職員(一般事務3名、看護師2名、臨床検査技師2名、放射線技師1名、運転士2名)を採用し、スタッフの充実強化を図るとともに、嘱託・臨時職員の適正配置に取り組んだ。	(計画)適正な人員配置等により組織体制の強化・充実を図るとともに、精度管理の維持向上のため、常勤医師・看護師等の専門スタッフの充実を図る。 (実績)正職員(看護師4名、栄養士1名)を採用し、スタッフの充実強化を図るとともに、嘱託・臨時職員の適正配置に取り組んだ。	(計画)適正な人員配置等により組織体制の強化・充実を図るとともに、精度管理の維持向上のため、常勤医師・看護師等の専門スタッフの充実を図る。

実施事業	①各種健診（検診）及び検査事業 ②健康啓発事業 ③研修会開催・支援事業 ④募金事業 ⑤会議開催事業 ⑥出版物斡旋事業 ⑦調査研究・情報提供事業 ⑧精度管理事業 ⑨宮崎県健康づくり推進センター管理運営事業							
活動指標		指標名	算式（単位）	令和5年度			令和6年度	令和7年度
				目標値	実績値	達成度（%）	目標値	目標値
	①	基本（特定）健康診査実施件数	年間実施件数（件）	30,000	20,586	68.6%	30,000	30,000
	②	市町村、事業場等健康指導受講者数	年間延べ受講者数（人）	6,000	3,758	62.6%	6,000	6,000
	③	ホームページアクセス数	年間アクセス件数（件）	34,000	33,455	98.4%	34,000	34,000
指標の設定に関する留意事項								

財務 状 況	正味財産増減計算書 (千円)			貸借対照表 (千円)				
		令和3年度	令和4年度	令和5年度		令和3年度	令和4年度	令和5年度
	経常収益	1, 615, 155	1, 604, 907	1, 596, 991	資産	1, 886, 114	1, 771, 957	1, 738, 555
	経常費用	1, 666, 234	1, 648, 551	1, 637, 059	流動資産	478, 549	443, 091	369, 520
	当期経常増減額	-51, 079	-43, 644	-40, 068	固定資産	1, 407, 565	1, 328, 866	1, 369, 035
	経常外収益	0	0	0	負債	634, 569	567, 351	536, 393
	経常外費用	37	1, 128	920	流動負債	226, 877	195, 251	173, 770
	当期経常外増減額	-37	-1, 128	-920	固定負債	407, 692	372, 100	362, 623
	当期一般正味財産増減額	-51, 116	-44, 772	-40, 988	正味財産	1, 251, 545	1, 204, 606	1, 202, 162
	一般正味財産期首残高	1, 234, 192	1, 183, 076	1, 138, 305	指定正味財産	68, 469	66, 301	104, 845
	一般正味財産期末残高	1, 183, 076	1, 138, 305	1, 097, 317	(うち基本財産への充当額)	66, 301	66, 301	66, 301
	当期指定正味財産増減額	-2, 167	-2, 167	38, 544	(うち特定資産への充当額)	2, 167	0	9, 636
	指定正味財産期首残高	70, 636	68, 469	66, 301	一般正味財産	1, 183, 076	1, 138, 305	1, 097, 317
	指定正味財産期末残高	68, 469	66, 301	104, 845	(うち基本財産への充当額)	0	0	0
正味財産期末残高	1, 251, 545	1, 204, 606	1, 202, 162	(うち特定資産への充当額)	7, 658	5, 913	71, 895	

※千円未満を四捨五入して表示しているため、合計の金額と一致しない場合があります。

財務指標	指標名		算式（単位）	令和5年度			令和6年度	令和7年度
				目標値	実績値※	達成度(%)	目標値	目標値
	①	管理費比率	管理費/経常費用計×100（％）	3.9	3.8	102.6%	3.9	3.0
		※ 令和5年度 実績値の算式 (62,825千円/1,637,059千円)×100						
	②	人件費比率	人件費/経常費用計×100（％）	60.0	56.0	106.7%	60.0	60.0
		※ 令和5年度 実績値の算式 (916,903千円/1,637,059千円)×100						
	③	収支比率	事業費/事業収益×100（％）	93.9	104.7	88.5%	93.9	93.9
		※ 令和5年度 実績値の算式 (1,574,234千円/1,502,935千円)×100						
	指標の設定に関する留意事項							

直近の県監査の状況	令和5年度事務局監査 (令和5年10月18日) において、指摘事項はなかった。
-----------	---

総合評価	公社等自己評価	改革工程に沿って、概ね計画どおりの成果を上げることができた。 令和5年度はコロナ禍前の令和元年度と比較すると地域保健における健診件数は回復に至っていないが、職域保健においては新たな事業所からの受託もあり上回ることができた。 また、新たに低線量肺がんCT検診車の配備や、精度管理の充実を図るなど「基本理念」に基づいて事業に取り組んだ。 今後とも、「運営基本構想」を踏まえ、効率的・効果的な事業計画を策定し、事業の充実を図りたい。				県所管部課二次評価	改革工程については、「運営基本構想」に基づく経営の自立化等に向けた取組が着実に推進されている。 活動指標については、いずれの指標値についても目標値に達していないため、さらなる活動改善に取り組む必要がある。 財務指標については、「管理費比率」及び「人件費比率」は目標に達成したが、「収支比率」は目標を未達成であり、引き続き財務改善に取り組む必要がある。			
	評価 (A:良好、B:ほぼ良好、Cやや課題あり、D課題多い)	改革工程	活動内容	財務内容	組織運営	評価 (A:良好、B:ほぼ良好、Cやや課題あり、D課題多い)	改革工程	活動内容	財務内容	組織運営
		A	B	A	A		A	B	A	A
	目標達成度					公社等改革推進委員会三次評価	活動内容については、いずれの指標も目標値を下回っているものの、職域保健における事業所からの新規受託等もあり、健康指導受講者数が増加している点は評価できる。 財務内容については、収支比率が目標に達しておらず、過年度より経常赤字も続いている状況にある。 選ばれる健診機関となるよう、検診事業ではアフターフォローの充実や健康啓発事業との連携等により一層の受診者確保に努めるとともに、経費節減を図るなど、「運営基本構想」を踏まえ、経営改善に向けた取組を確実に進めていくことが求められる。			